

学校教育目標		めざす子どもの姿（中期的目標）	総合評価					
かしこく	○課題や疑問をもち、よく考えて解決する子 ○状況を判断し、正しい行動をする子 ○話をよく聞き、自分の考えを正しく伝える子		いろいろな場面でコロナ前の活動ができるようになり、中長期的目標に沿った教育課程を推進することができた。「かしこく」に関わっては、学習形態の工夫などを研修でも行い、授業改善をすることができた。「やさしく」に関わっては、児童会活動とも関わってみんなが気持ちよく生活するための方法や相手を意識した声かけについて考えることができた。「たくましく」に関しては、引き続き全校体育や朝の会に体磨き運動を継続して行ってきた。					
やさしく	○物を大切に使い、生き物の命を大切にする子 ○感謝の気持ちを素直に伝える子 ○自分との違いを認め、誰とでも仲よくする子							
たくましく	○体を動かしたり運動したりすることを楽しむ子 ○決めたことをあきらめないでやりとおす子 ○すききらいなく食べ、健康な体をつくる子							
今年度の重点目標			成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
①	かかわり合いのある「主体的・対話的」な授業の実施（学力向上）		UD化を軸とした授業改善に取り組み、だれもが主体的に取り組めるように心がけた。		○			更に対話が生まれるような場の設定を考えていきたい。
②	互いの「良さ」をわかり合える学級・学年づくり（生命尊重）		異年齢の交流活動をたくさんおこなうことができた。		○			これからも、児童会等で、子ども達の声から活動できる場を大事にしていきたい。
③	目当てを持って運動や活動に取り組む集団づくり（健康・体力向上）		体育の授業では、目当てをしっかりと持つことで体を動かす楽しさを味わえる児童がたくさんいた。全校体育などでストレッチの大切さを学ぶことができた。		○			授業ではいつでも「めあてを持ち、振り返る」を意識して取り組んでいく。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	教育課程	① 各教科における表現活動の充実	各教科・総合的な学習の時間の学習場面で、自分の考えを表したり、他者の考えを受け止めたりして自分の考えを深めることができたか。	考えて発表する表現活動を取り入れたり、つなげて発言することを大切にしたりした。また、ペア学習、グループ学習を取り入れ、充実させることができた。	○				特に、国語において書く活動が多くなっている。学年段階に応じて、書く活動の積み重ねが必要である。
		② 道徳教育・人権教育の充実	自分の考えをもち、自分とは異なった考えを持つ相手の立場にたった言動ができるようになったか。	日々の人権教育と週1回の道徳の時間を大切に取り組むことができた。また、なかよしペアでの活動をたくさん取り入れ、異年齢での交流ができた。		○			多様な仲間からの学びができる場を今後も意図的に位置付けていく。また、授業の時だけでなく、学校生活全般において継続的に指導していく必要がある。
		③ 特別活動の充実	目当てをもって行動するとともに、自分の行動を振り返り、次の行動へのめあてをもつことができているか。	目当てを明確にすることや手順をはっきりさせることで、見通しを持って活動する姿につながった。		○			振り返りを次の時間につなげられるような実践の積み重ねを行う。
	学習指導	④ 読む活動の充実	朝読書、読み聞かせ、図書館の時間などの読書活動を教師の積極的なかかわりによって充実させているか。	今年度、朝の活動を読書にした。静かに集中して読書に取り組むクラスが多く、読書をする習慣がついた。図書館の時間やこんべいとうの会などで読み聞かせの活動も行い、充実させることができた。	○				朝の活動は読書を基本にし、日常的に読書をする時間を位置付けていく。また、国語や図書館の時間などを利用し、本の紹介なども行っていく。
		⑤ 授業の充実	考える活動、表現する活動を意識した授業に取り組み、主体的・対話的な学習が活発に展開されているか。	①にも関わって、考えて表現する活動を充実させることができた。また、ペアやグループなどでの活動を取り入れることができた。		○			これからも、主体的・対話的な学習を行うために、ペア学習、グループ学習などを意図的に取り入れていく。
		⑥ 家庭学習の充実	基礎の定着及び学習への意欲を高める家庭学習が位置づけられているか。	ほとんどの子は定着できているが、個人差が大きく、なかなか定着できない子もいる。		○			他の学年の宿題の様子などを共有し、効果的な家庭学習の方法を検討していく。
	生徒指導	⑦ 基本的生活習慣の充実	自分からするあいさつ、「～くん、～さん」の友の呼び方、靴のかかとそろえ、時間のけじめなどの基本的習慣が日常的に身につくような指導がされていたか。	児童会でも呼びかけ、挨拶については、自分から進んでできる子が多く、気持ちのよい挨拶ができている。「～さん、～くん」付けについても児童会で呼びかけ、改善しようとする意識が見られた。		○			児童会の活動で、ミッションがあった時には特に意識して「～くん、～さん」付けができていたので、続けていく。
		⑧ 自他を大切にする気持ちの醸成	学校生活全般で相手を意識させ、互いの気持ちを考えたり、相手に寄り添った行動がとれたりする場面を日常的に取り入れることができたか。	課題があった時にタイムリーに指導したり、全職員で連携して情報収集したりすることができた。人権教育などで、よいところがしなどを行った。		○			相手意識を高めるために、必要感のある活動を設定していく。そうした活動を積み重ねていきたい。
	学校運営	⑨ 地域に根ざした学習の充実	地域の自然・人材・文化財から学ぶ学習を仕組み、豊かな体験を通して人や物との関わりを学ぶ学習をすすめることができたか。	外部講師を中心に地域の人材から学ぶ機会を持つことができた。学年によってあまり関われなかったという反省もあった。		○			職員研修で地域の教材研究を行う。地域の人材バンクなどを作成していくことも考えていく。
		⑩ 情報の発信と連携	学校公開、学校・学年・学級便り・ホームページなどを通して児童の様子や学校の願いを伝え、保護者・地域との連携に努めているか。	今年度は学校公開を予定通り実施することができた。情報発信も例年通り実施できた。		○			引き続き、学校公開や情報発信に努めていく。
		⑪ 授業の改善	明確な自己課題を持ち、その解決のために授業公開や各種研修に積極的に関わり自己研修に努めているか。	重点研究や一人一公開の授業や、各種研修に進んで参加し、授業改善に活かすことができた。また、職員会の時に毎回研修を行うことができた。		○			今後も校外及び校内研修などで、学ぶ機会を持つようにする。